

## 平成 29 年度第 6 回 函館市高齢者計画策定推進委員会 会議概要

### ■ 日 時

平成 29 年 12 月 27 日（水） 18 時 30 分～19 時 05 分

### ■ 場 所

市役所本庁舎 8 階大会議室

### ■ 議 事

- (1) 第 8 次函館市高齢者保健福祉計画・第 7 期函館市介護保険事業計画（平成 30 年度～平成 32 年度）素案（案）について

### ■ 配付資料

- ・会議次第
- ・第 8 次函館市高齢者保健福祉計画・第 7 期函館市介護保険事業計画（平成 30 年度～平成 32 年度）素案（案）

### ■ 出席委員（15 名）

朝倉委員，天羽委員，池田委員，岩井委員，小川委員，奥野委員，恩村委員，川口委員，木村委員，熊川委員，佐々木委員，所委員，中村委員，能川委員，八幡委員

### ■ 傍 聴

1 名

### ■ 報道機関

1 社（函館新聞社）

### ■ 事務局職員

藤田保健福祉部長，佐藤保健福祉部次長

保健福祉部 介護保険課 深草課長，山中主査，江良主任

保健福祉部 高齢福祉課 佐藤課長，笹原主査，相澤主査，辻主査，

岩島主査，中村主査，二木主任

## ■ 会議要旨

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1) 第8次函館市高齢者保健福祉計画・第7期函館市介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）素案（案）について

事務局：山中介護保険課主査

（以下の資料に基づき説明）

- ・第8次函館市高齢者保健福祉計画・第7期函館市介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）素案（案）

池田会長

ただいまの説明に対し、何か質問はあるか。

能川委員

計画書の作成部数と配付先はどうなっているか。というのは、資料の36～37ページの「施策体系と個別施策・事業名」はとても関心があるページだが、文字が細かいので、配付先の機関がこの字の大きさを大丈夫かと思った。4ページくらいにして文字を大きくしてもらえないだろうか。

また、各関係機関、例えば地域交流まちづくりセンターなどの連絡先を載せてはどうか。今までの計画書の問合せ先は保健福祉部となっていて、必要性は低いかもしれないが、問合せ先の電話番号があってもよいのではないか。

事務局：山中介護保険課主査

計画書の本書は800冊、概要版は1,500冊を予定している。配付先に関しては、大方の関係機関には配付できるかと思う。

問合せ先の掲載に関しては、計画の作成責任は函館市にあるため介護保険課に問合せしていただければよいが、ご意見があったので協議したい。

池田会長

検討していただきたい。

他に意見はあるか。

佐々木委員

日頃地域包括支援センターで高齢者福祉サービスを調整しているが、例えば資料の50ページに除雪サービスの記載があり、「～受けられない者を対象」となっているが、ホームページでは「～できない方を対象」と表記している。市民に広く読んでもらう場合に、者と方で印象が変わるとすれば、そこら辺を加味してもらえればと考える。ただ行政として意図があれば、それはそれでいいのかと思う。

池田会長

表現として「方」の方が優しい感じはする。検討してみたい。

### 3 その他

池田会長

事務局からの議事が終了した。最後に、私から一言お礼を申し上げたいと思う。6月から本日まで、6回の委員会を開催し、地域の実態把握・課題分析を踏まえた目標設定や介護保険サービス利用量の見込みなどについて協議・検討を行ってきた。「地域包括ケアシステム」の実現に向け、団塊の世代が、全て75歳以上となる平成37年までに、函館市の高齢者福祉がどのようにあるべきかという視点で、今日までディスカッションしてきたわけである。そして早急に取り組むべき課題があることを、委員・行政とも再認識できたものと思っている。これからこの新たな計画に基づいて、高齢者福祉を積極的に進めていただくようお願いしたい。

会長として本当にしっかりやれたか不安もあるが、皆様の活発な意見があり、市の施策に生かしていつてもらえるものと思っている。今日まで本当にありがとうございました。

事務局：藤田保健福祉部長

本日最後の委員会となったが、委員の皆様にはお忙しいなか、お仕事を終えられてお疲れのところ、6月から今日までの6回の委員会において熱心に、そして精力的に計画内容を検討していただき、厚くお礼を申し上げます。今回の計画は、介護保険法の改正に伴い、地域包括ケアシステムの深化・推進の視点に立った計画の策定が求められたが、本日、このように計画素案（案）として取りまとめることができ、改めて感謝申し上げます。この素案（案）は庁内での政策会議を経て、素案という形でパブリックコメントを実施し、市民の皆様や市議会からもご意見をいただきながら、最終的には年度内に計画として取りまとめる。

これまで皆様からいただいたご意見・ご提言については、計画はもとより、今後の各種施策にも反映させながら、高齢者福祉に取り組んでまいりたいと考えている。

終わりに、皆様には、今後とも、この計画の進捗状況に対する管理をお願いすることになるが、各種施策の展開に関し、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

池田会長

新年度も年1回程度、計画目標の進捗状況を管理していくため、委員会の開催を予定しているので、委員の皆様には引き続きよろしくお願いしたい。

### 4 閉 会